

令和4年度
金沢大学ステークホルダー協議会
実施報告書（資料編）

令和4年9月
国立大学法人金沢大学

学長挨拶・近況報告



令和4年度金沢大学ステークホルダー協議会

プログラム

【全体会】

1 6:00 開会

1 6:03 学長挨拶・近況報告（20分）

<休憩>（12分）

【分科会】

1 6:35 分科会（40分）

<休憩>（10分）

【まとめ】

1 7:25 分科会報告・全体意見交換（35分）

1 8:00 閉会



金沢大学のビジョン

オール金沢大学で
「未来知」により社会に貢献する

令和4年度金沢大学
ステークホルダー協議会

2022年7月2日

金沢大学長 和田 隆志



基本 理念

「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」
の位置付けをもって改革に取り組む

- ・ 専門知識と課題探求能力、国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する。
- ・ 基礎研究から実践研究までの卓越した知の創造に努め、新たな学術分野を開拓し、積極的に社会に還元する。 等

地域に愛され、世界に輝く大学へ

金沢大学の歩みと成果

金沢大学憲章の理念に則り、大学改革が行われてきました。

2008

3学域・16学類へ

2022

4学域・19学類

人材育成

2014

**スーパーグローバル大学
(SGU)創成支援事業**

2014 教養教育改革

2018 学類再編・入試改革

分野融合型博士人材養成

インターンシップ・海外派遣支援

2021 新学域創設 (融合学域)

2012 グローバル人材育成推進機構創設

2012 国際機構創設

知識集約型/STEAM教育の拡充

研究力強化

2007 学内COE制度

戦略的研究推進プログラム創設

2010 若手研究者の頭脳循環

共同利用・共同研究拠点認定

2010~ 研究域附属研究センターの創設

2012 先端科学・イノベーション推進機構創設

2015 新学術創成研究機構創設

2017

**世界トップレベル研究拠点
プログラム (WPI) 指定**

2017

フラッグシップ研究所群創設

マネジメント

2020・2021

国立大学経営改革促進事業

2019 先端科学・社会共創推進機構創設

2021

北陸未来共創フォーラム創設

2014 YAMAZAKIプラン策定

2017 財政計画の策定・見直し

複層的に行われた改革により、金沢大学のプレゼンスが大きく向上しています。



金沢大学未来ビジョン



□ これからの金沢大学が目指すもの

基本理念

地域と世界に開かれた教育重視の研究大学

揺るぎない
未来ビジョン

金沢大学の「志」

オール金沢大学で「未来知」により社会に貢献する

3つの
あるべき姿

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成

社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

最重点
ミッション

大学院の飛躍的な機能強化

優位性・独自性のある研究分野の伸長 “世界的研究拠点の形成”

全学を挙げての実証研究の展開

研究力強化 附置研究所

2022年3月までに5つの研究所を創設しました。

2022年4月には、新たに古代文明・文化資源学研究所を創設しました。

研究域附属研究センター、新学術創成研究機構における研究ユニット等を核に
強み・特色のある研究グループが組織化されています。

1967年設置



国立大学附置研究所
唯一の「がん研究」特化

がん進展制御研究所

共同利用・共同研究拠点に認定

がんの転移・薬剤耐性に
関わる先導的共同研究拠点

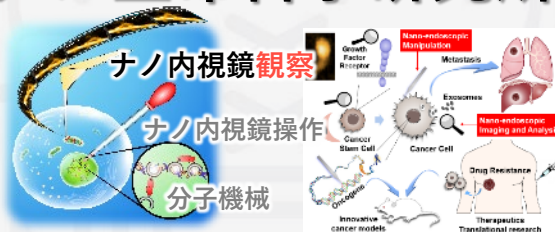


2017年設置



世界トップレベル
研究拠点プログラム wpi World Premier International
Research Center Initiative

ナノ生命科学研究所



2018年設置

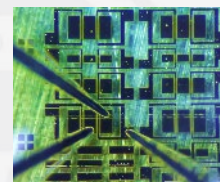


超分子による新規材料開発・
デバイス開発、高機能化の加速 NanoMar

ナノマテリアル研究所

反転層ダイヤモンド
MOSFET

有機薄膜太陽電池



2019年設置



スマート設計生産システムの構築に
向けた革新的設計生産技術の確立

設計製造技術研究所



特殊合金による3Dプリンタ
(金属AM)



CFRPプレス成形
(軽量化)

2021年設置

次世代のモビリティやモビリ
ティ社会の実現

高度モビリティ研究所



公道走行実証実験の様子



2022年設置

新設

パレオゲノミクスの融合による
次世代考古学の確立

古代文明・文化資源学研究所



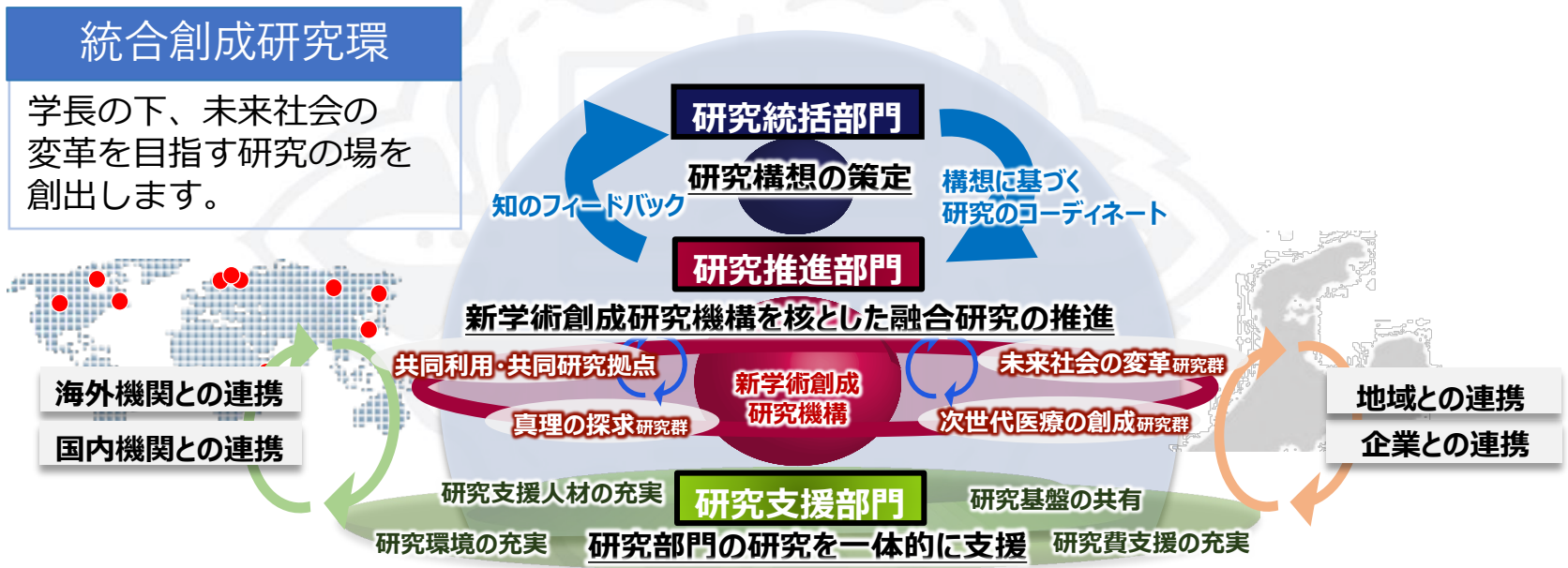
中米マヤ文明



アラビア半島
先原史遊牧民文化調査

統合創成研究環による多様な研究の推進

「人文・社会科学」「自然科学」「生命科学」が一体となり
総合知を創出します。



- ✓ 特色ある研究の先鋭化
- ✓ 多様な分野の知の融合
- ✓ 多様なセクターとの協働
- 等

総合知により、社会課題を解決し得る社会貢献・社会実装を実現します。

全学を挙げての実証研究の展開

本学の多彩な研究の実証をキャンパス内で積極的に展開します。

大学の広大な敷地と
恵まれた研究資源を最大限に
活用します。

【現段階での想定】

- ✓ 自動運転技術の実証研究
- ✓ エアフィルター技術の実証研究
- ✓ VR技術の実証研究
- ✓ クリーンエネルギーの実証研究
- ✓ まちづくり・人流の実証研究

等

総合大学のメリットを活かした研究成果を創出し、社会実装、まちづくりに
つなげます。



金沢大学産学協働研究拠点 “SPEED & FLEXIBILITY”に研究する拠点
バイオマス・グリーンイノベーションセンター（2022年度創設予定）

「人の好奇心を形に、地球に自然な色彩を」

- ・ 次世代エネルギーシステム、新機能素材の創出など新たな価値共創を実現します。
- ・ 株式会社ダイセルからの資金により施設を整備しました。



このセンターを拠点として産学官金、産産学学連携により価値を創出します。

大きな枠組みで分野を括った4学域を有しています。

融合学域 文理融合の知識を基に、イノベーションをリードする人材を育てます。

2学類 先導学類、観光デザイン学類
スマート創成科学類（仮称）
（令和5年度設置手続き中）

学生数 124人



人間社会学域 人間のこと、社会のこと。知の世界を、自由自在に探究します。

6学類 人文学類、法学類、経済学類
学校教育学類、地域創造学類
国際学類

学生数 2,973人



理工学域 高度な創造力と技術力をそなえ、社会に貢献できる科学人をめざします。

7学類 数物科学類、物質化学類、機械工学類
フロンティア工学類、電子情報通信学類
地球社会基盤学類、生命理工学類

学生数 2,582人



医薬保健学域 最先端の知識と技術を身につけ、温かさのある医療人を育てます。

4学類 医学類（6年制）、薬学類（6年制）
医薬科学類、保健学類

学生数 1,929人

（2022年5月1日現在）



既存の学問分野を継承しつつ、未来を見据えた文理融合学域も編成しました。

未来創成教育環による学修者本位教育への転換

自ら学び、自ら育む教育環境を構築します。

未来創成教育環

学長の下、教育改革エンジンの統合・結集
教育改革の抜本的飛躍を担う新たな組織

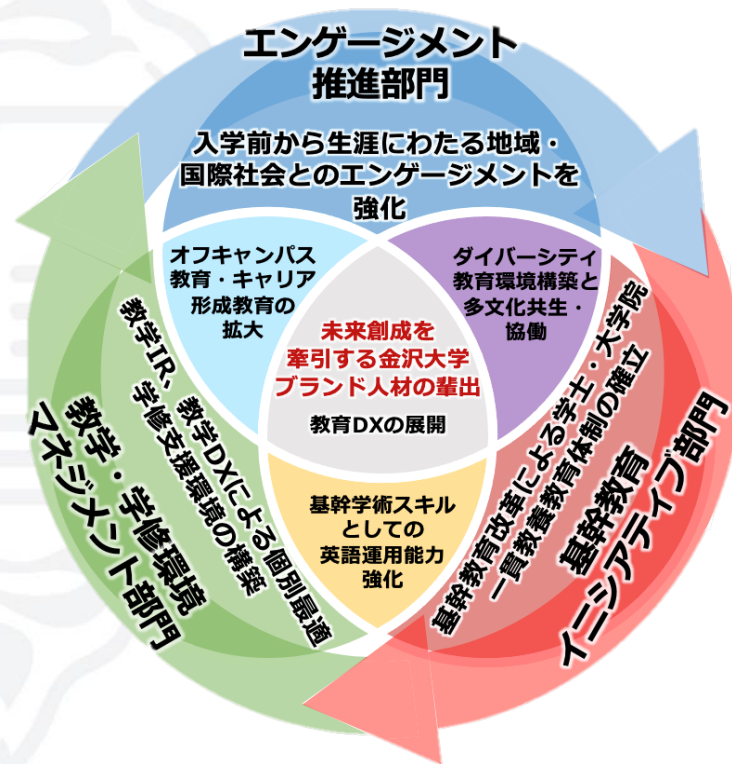
未来創成を牽引する
金沢大学ブランド人材の輩出

専門知識と課題探求能力、国際感覚、
倫理観を有する人間性豊かな人材

教育改革加速の方向性

- ✓ 学修者本位の教育の実現
- ✓ 個別最適学修支援の確立
- ✓ 「人材育成」から「自ら育む環境構築」へ
- ✓ 教育と学修環境DXの推進
- ✓ 社会と相互作用する共創教育の拡充

3部門と7つのミッション



教育リソースを開放し、リカレント教育を含め学生の多様な学びにつなげます。

自ら未来をデザインし企画・実践して、
その内容をコミュニケーションできる能力を醸成します。

未来デザインプラクティスにおいて

醸成する

- ・プロジェクト企画能力
- ・コミュニケーション能力
- ・プレゼンテーション能力
- ・主体的にプロジェクトに関わる能力
- ・俯瞰的に捉える能力



未来デザインプラクティス五箇山合宿(2022.6.18)



「自分と未来は変えられる！」をテーマに学生個々人が未来を変えようとする意欲を高め、未来を変えられる自信を深める。

学生のキャリア形成に向け、多様な者との交流の場を提供します。

雑談のチカラ「偶然の出会いを必然に！」

学生・教職員や地域の人々に、職種・業種や立場などにとらわれず、自由に語り合う場を提供しています。

これにより、本学学生のキャリア形成、本学教職員および参画企業のアイデア創出などにつなげる交流事業です。



株式会社TOP代表取締役会長（兼）社長との交流(2022.6.7)

何気ない会話の中から、新しい自分、アイディア、ひらめき、イノベーションが生まれます。

独自の入試制度

入学者の多様性を確保するため、革新的な独自の入試を実施

・ KUGS特別入試

✓ 基礎的知識・技能を活用して他者と協働しながら夢を実現する
強い意欲を持つ人材を選抜

✓ KUGS 高大接続プログラム

同プログラム修了者又は「グローバルサイエンスキャンパス事業」
の第一段階修了者に出願資格を付与

・ 超然特別入試

✓ 卓越した才能を持つ人材を選抜

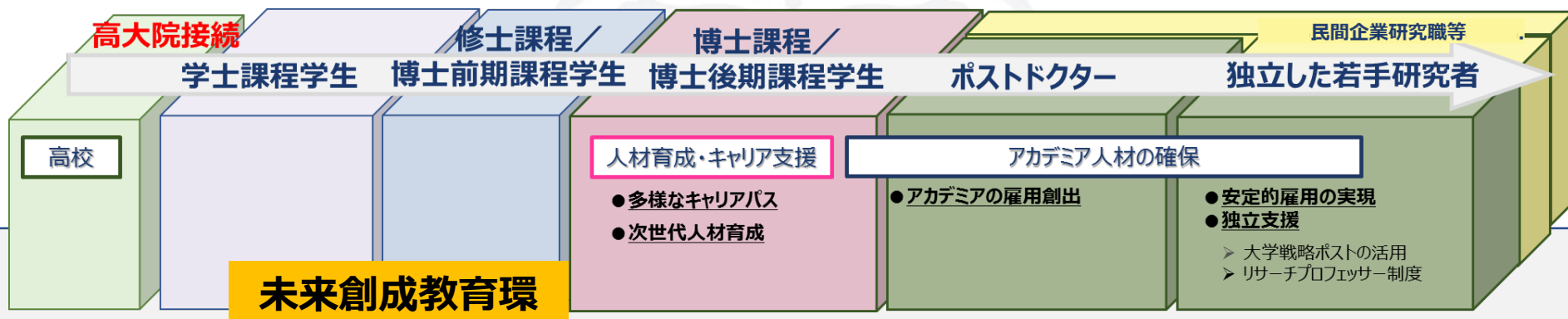
✓ 金沢大学コンテスト「日本数学A-lympiad」 「超然文学賞」
受賞者に出願資格を付与



意欲ある多様な人材を受け入れ、複雑化・多様化する国際社会を牽引する
「金沢大学ブランド」のグローバルリーダーを育成します。

高大院連続型の支援システムの構築

高大接続に始まり学士課程、大学院、さらに研究者となるまで一貫した教育・学生支援を行います。



ダイバーシティ推進機構

- 留学生/外国人研究者支援
- 女子学生/女性研究者支援

統合創成研究環

- 異分野融合研究支援
- 産学官連携・社会共創支援
- 研究支援人材の伴走
- 学内COEへの参画

ポストドク後3年間
助教を経験する制度も
構想しています。

大学院生からPIまでを取り巻く、研究環境を充実します。

ステークホルダーの皆様とのエンゲージメントを大切にしています



教職員と多様なステークホルダーの皆様と共に、大学経営、資金・人・知が好循環する持続可能な運営・経営の確立を目指します。

本学の知を核に、多様な人材・知・資金が循環するイノベーションエコシステムを展開します。

- 北陸未来共創フォーラムの機能強化
- 地域課題解決・地域資源活用
×大学シーズによる産業創出
- 価値創出を担う地域創生を牽引する人材育成
- 大学発ベンチャー企業群の創出
- 世界で活躍する中核的リーダー人材の輩出
- イノベーションハブとしての、学生、研究者等、多様な者の交流促進



新しい発見、新しい結合、新しい価値。

北陸未来共創フォーラム

産学官金プラットフォーム for Innovation challenge

北陸全域に広がる産学官金プラットフォームを、北陸経済連合会のコーディネートのもと、北陸地区の国立大学4大学が共同して運営する

未来ビジョン I **経済・産業活性化**

マテリアル分科会 先端エレクトロニクス分科会
ヘルスケア分科会 次世代農林水産分科会

未来ビジョン II **人材流入・地域定着**

地元人材育成分科会 人材流入・地域定着分科会

オール北陸で新産業創出や人材育成に取り組み、日本の未来社会に向けた地方創生モデルを示す

皆様と連携し、ワールドワイド・地方創生の双方から共創事業を拡大します。

金沢大学基金を設立し、学生の修学環境整備や国際交流、課外活動などを支援しています。

2008年 金沢大学基金の設立

- ・ 大学基金（大学全般への支援）
- ・ 修学支援基金（修学困難学生への支援）
- ・ 研究支援基金（若手研究者への支援）
- ・ 課外活動振興基金（課外活動団体への支援）
- ・ ウクライナ等海外緊急支援基金

ウクライナから研究者の招へい

渡航費用や生活基盤形成の支援の実施

改革戦略室が主体となり寄附文化の醸成に向けた活動を展開します。

本基金は大学の経営基盤を支える大きな柱となっています。

附属病院の診療・研究機能の強化

北陸地方の医療拠点として、ポストコロナ時代を見据え、先進的な基礎・臨床研究、質の高い医療を進める附属病院として一層発展する。

元気が出る附属病院プラン2022の策定

経営改革への取組内容

診療科再編・統合による診療機能強化
新型コロナウイルス感染症等への対応
新中央診療棟による更なる高度医療の展開
HCU病床の設置等の病床機能再編
救急医療の強化
先進医療をはじめとする最先端医療の推進

など



安心と満足を提供する病院を目指します。
最高の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人を育成します。



人が輝く 金沢大学

Work together as one.

改革の理念や目指すべきゴールを共有し、
よりよいチームをつくるために。

- ・優れた教育と研究力の好循環が生まれる環境づくりに取り組みます
- ・フォアキャスト、バックキャストによる課題検証を適時行います
- ・必要に応じた改革をスピード感をもって遂行します

教職員ひとりひとりが、金沢大学の代表に。
教員と職員が協働して、オール金沢大学に。

- ・金沢大学に誇りと愛着を持って、それぞれの立場で「何をなすべきか、何ができるか」を自ら考え、自ら動きます
- ・教員と職員が対話し、協働で発展に取り組みます
- ・志高く未来課題を探求し、解決を目指します

○ 世界的研究拠点の形成

○ “金沢大学ブランド人材”の輩出

○ 人・知・社会に好循環を作り出す運営・経営の実現 を目指します。

教職員とステークホルダーの皆様の力を合わせた
「オール金沢大学」で
未来知により社会に貢献する



「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」として
取り組んでいきます。